

1年2月開業予定)の3棟の開発を計画。今回で4棟目となる。用地を取得したのは関連会社のアパホーム(株)で、敷地面積は594㎡。14階建てで、延べ床面積は約3300㎡。客室は236室。同社では「交通の要所となる博多周辺は重点エリア。ドミナント戦略で一気に拡大していく」と話している。

(二安)

7月開業の「ザライプリー福岡」宿泊受付開始

東京のグローバルエージェンツ 224室

コミュニティ型住宅やホテル事業を展開する(株)グローバルエージェンツ(東京都渋谷区、山崎剛社長)が運営する「ザライプリー福岡」(福岡市博多区中洲5丁目)は4月16日から宿泊・宴会予約受付を開始した。

7月に開業するホテルは敷地面積が1241㎡。地上10階、地下1階建てで、延べ床面積は9888㎡。エントランスやフロント、エレベーター、レストラン、ラウンジ、バンケット会場があり、客室数は224室。2階はバンケットが2会場で、各約150㎡(そのうちカンファレンスルームは2つに分けての利用も可)。企業のセミナーから宴会利用まで幅広い用途に対応する。会場利用料金は、コース料理と飲み放題付で1人4500円〜で、利用単価にもよるが20人から予約可能。時間貸し利用で1時間あたり2万2000円〜(2時間から利用可)を予定している。また客室はスタンダードダブル(14㎡)がメインタイプで、宿泊単価は1万2000円前後。

(山口)

空港近くに9階建てホテルオープン

沖縄のホテルグランビュウ 客室96部屋

リゾート、ビジネスホテルを運営する(株)ホテルグランビュウ(沖縄県豊見城市、小尾一社長)は5月30日、福岡市博多区大井2丁目に9階建てビジネスホテルをオープンする。

沖縄県で3施設展開する「ホテルグランビュウ」ブランドで、ホテル名は「ホテルグランビュウ福岡空港」。同社が県内でホテルを開発するのは初となる。場所はホームプラザナフコ福岡空港店の北東。福岡空港近くにはビジネスホテルが少なく、観光客増加が続く福岡中心部で、空港近くの利便性を生かす。敷地面積は992㎡。鉄筋コンクリート造9階建てで、延べ床面積は2059㎡。客室はシングル80部屋、ツイン16部屋。

(一安)